

地域特性調査結果

1. 自然的状況

(1) 位置・地勢

本市は、兵庫県のほぼ中央部に位置し、北部は養父市・豊岡市、南部は神河町、東部は丹波市・多可町・京都府、西部は宍粟市に接しています。

市域は、南北約 32km、東西約 24km の範囲に広がり、総面積は 403.06km² で県全体の 4.8% を占めています。日本海へ流れる円山川や瀬戸内海に流れる市川などの源流地域で兵庫県の南北の分水嶺に位置し、市域の約 84% が森林に覆われた自然豊かな地域です。

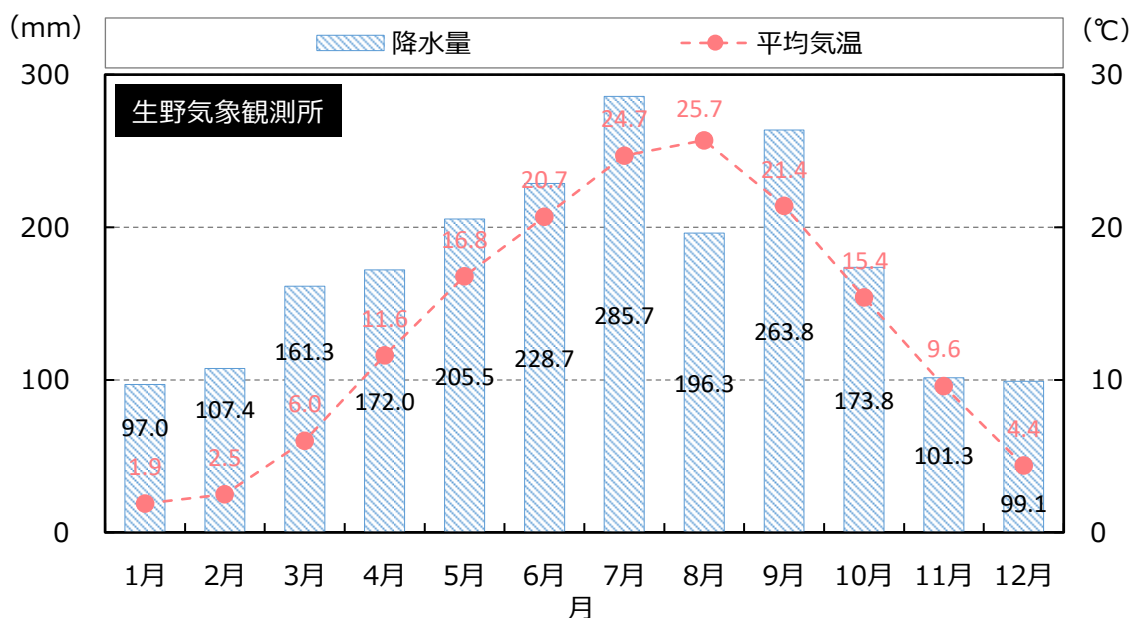
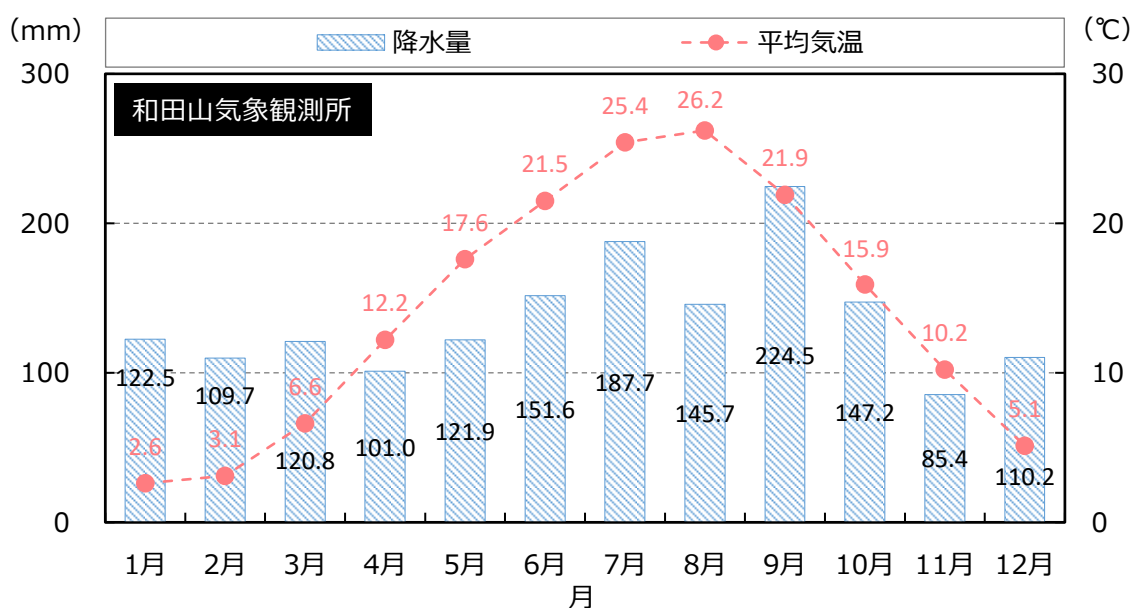


朝来市の位置

(2) 気候・気象

市内の和田山気象観測所における年平均気温及び年間降水量の平年値（1991年から2020年の30年間の平均値）は、それぞれ14.0℃、1,628mmとなっています。月平均気温の平年値は8月が26.2℃と最も高く、月間降水量の平年値は9月が224.5mmと最も多くなっています。

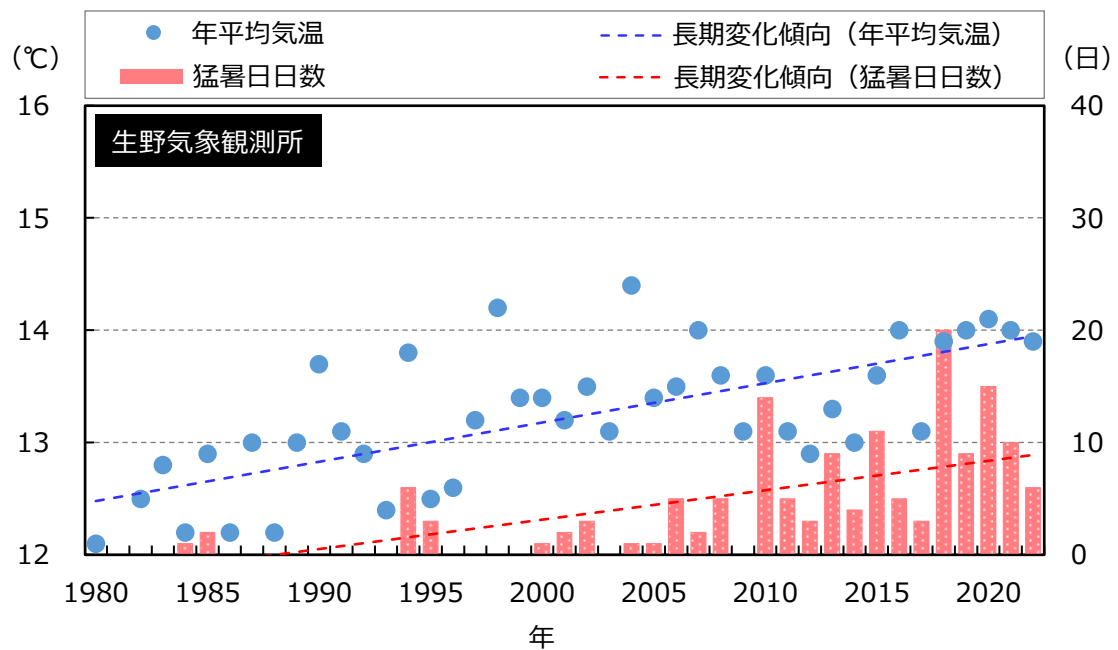
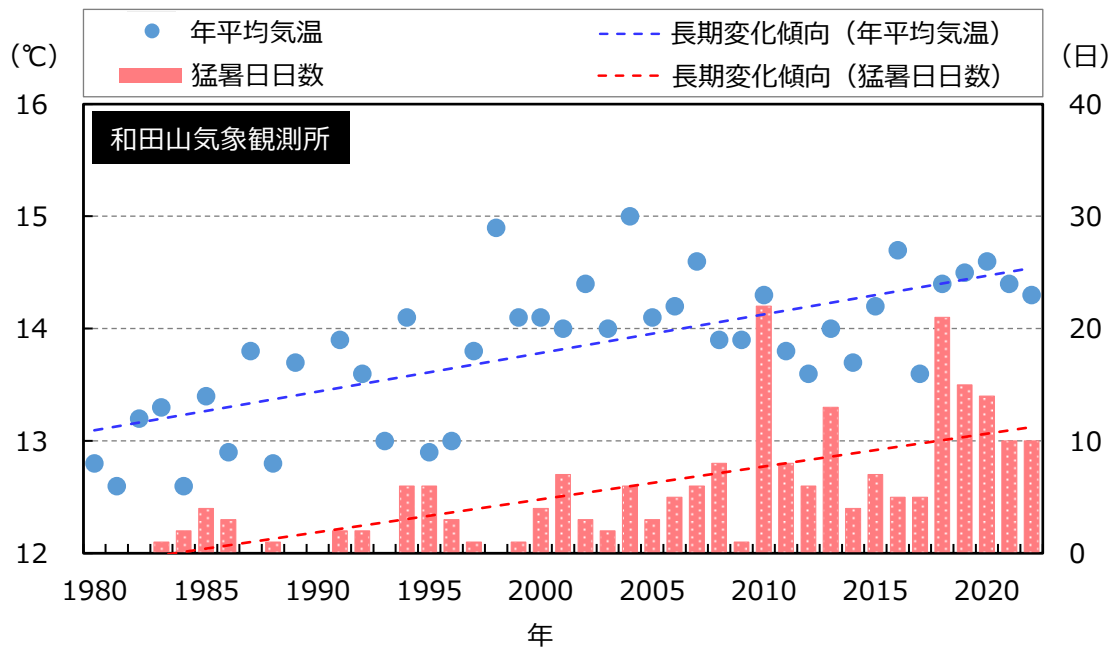
また、生野気象観測所における年平均気温及び年間降水量の平年値は、それぞれ13.4℃、2,092mmとなっています。月平均気温の平年値は8月が25.7℃と最も高く、月間降水量の平年値は7月が285.7mmと最も多くなっています。



資料：気象庁統計資料

月平均気温及び月間降水量の平年値

また、両気象観測所における 1980 年以降の年平均気温及び猛暑日（日最高気温が 35℃以上の日）日数の長期変化傾向を見ると、ともに増加傾向で推移しています。



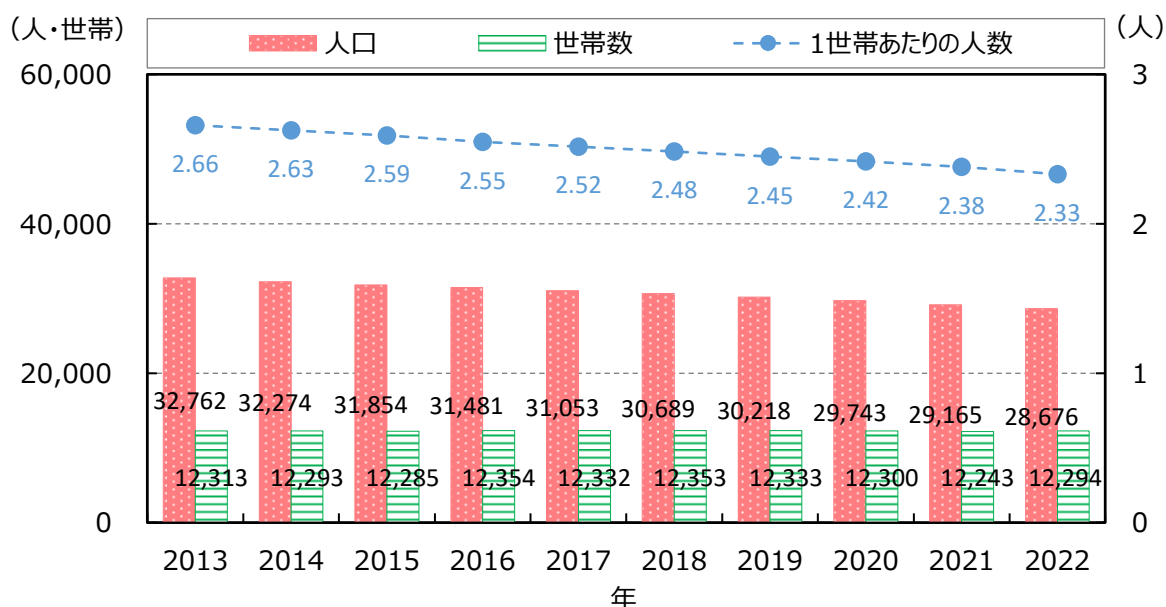
資料：気象庁統計資料

年平均気温及び猛暑日日数の推移

2. 社会的状況

(1) 人口・世帯数

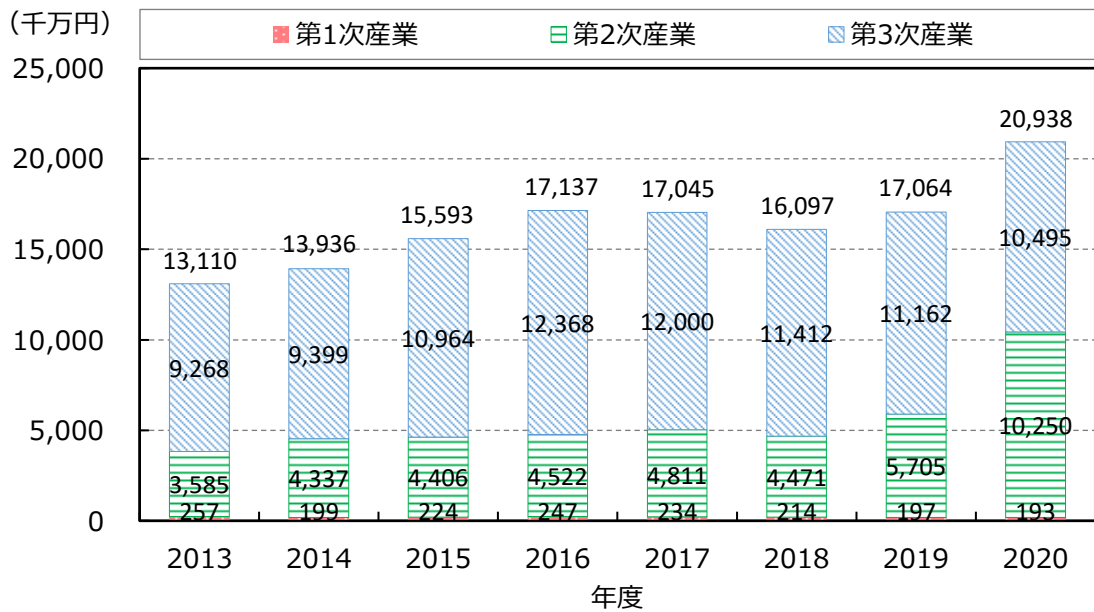
本市の人口及び世帯数（各年 10 月 1 日現在）は、2022 年でそれぞれ 28,676 人、12,294 世帯となっており、人口は減少傾向、世帯数は概ね横ばいで推移しています。1 世帯あたりの人数は、2022 年で 2.33 人となっており、減少傾向で推移していることから、核家族化や単身世帯化が進行しています。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査
人口及び世帯数の推移

(2) 産業別市内総生産

本市の市内総生産は、2020 年で 20,938 千万円となっており、多少の増減はあるものの増加傾向で推移しています。産業別に見ると、第 2 次産業が多少の増減はあるものの増加傾向にある一方で、第 1 次産業及び第 3 次産業は 2017 年度以降、減少傾向で推移しています。

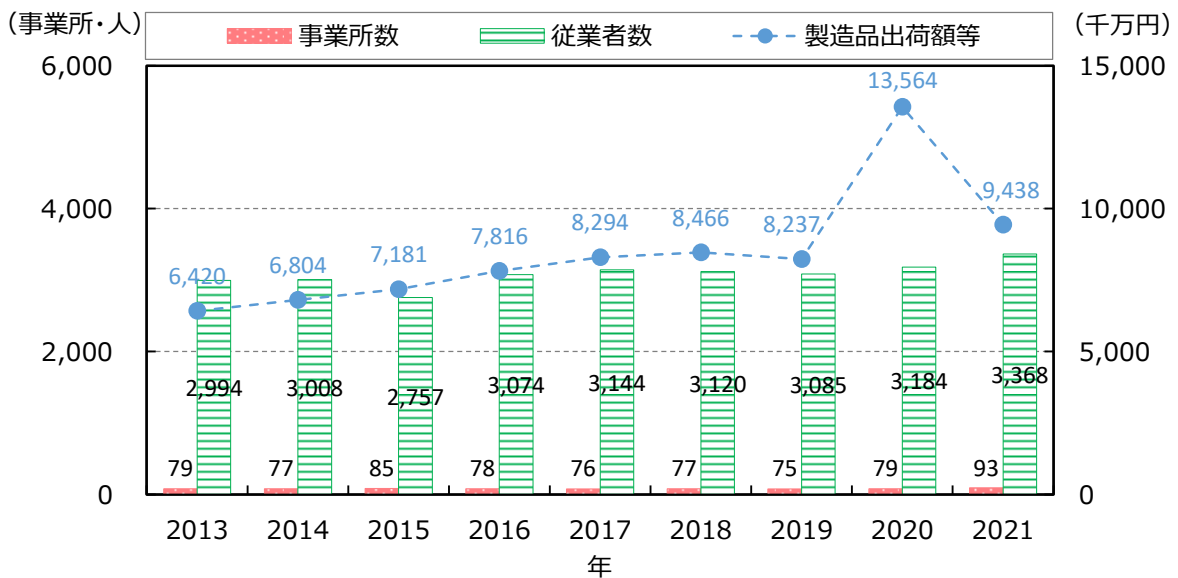


資料：市町民経済計算

産業別市内総生産の推移

(3) 製造品出荷額等

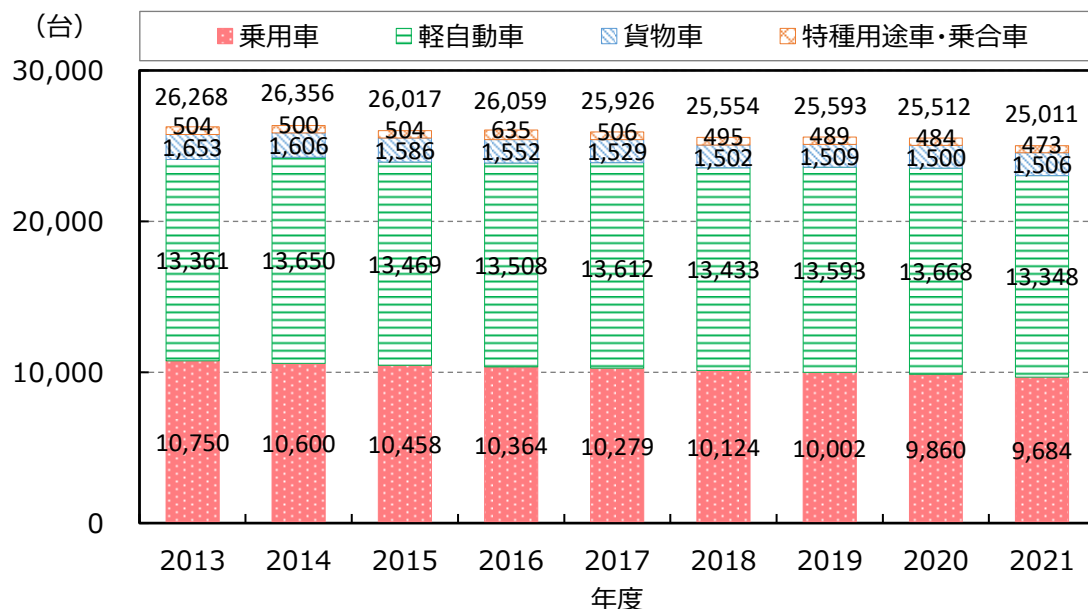
本市の製造品出荷額等は、2021年で9,438千万円となっており、2020年から2021年で大きな増減はあるものの増加傾向で推移しています。また、事業所数及び従業者数についても、多少の増減はあるものの増加傾向で推移しています。



資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査、経済構造実態調査
製造品出荷額等の推移

(4) 自動車保有台数

本市の自動車保有台数は、2021 年度で 25,011 台となっており、多少の増減はあるものの減少傾向で推移しています。車種別に見ると、全車種で同様の傾向で推移しています。

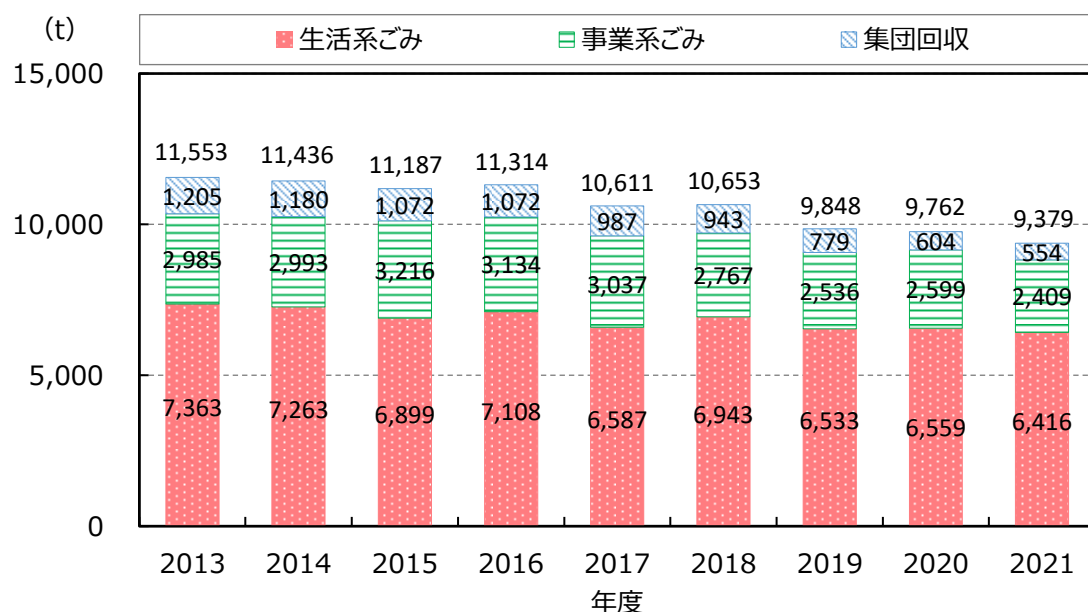


資料：兵庫県統計書

自動車保有台数の推移

(5) ごみ排出量

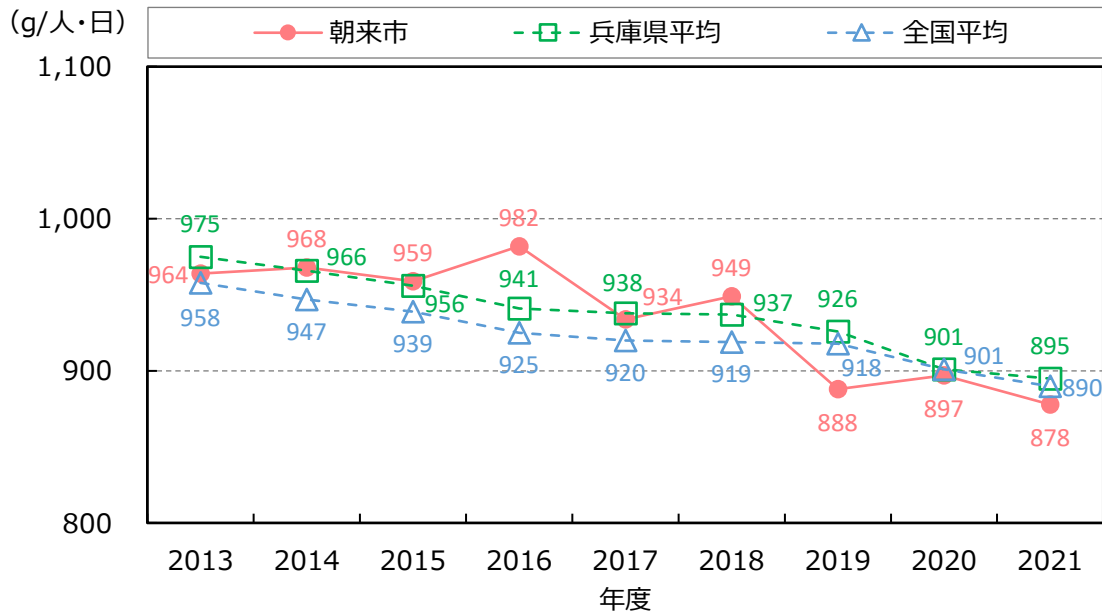
本市のごみ排出量は、2021 年度で 9,379t となっており、多少の増減はあるものの減少傾向で推移しています。



資料：一般廃棄物処理実態調査

ごみ排出量の推移

また、1人1日当たりのごみ排出量は、2021年度で878g/人・日となっており、多少の増減はあるものの減少傾向で推移しています。2019年度以降、兵庫県平均及び全国平均よりも少ない水準で推移しています。

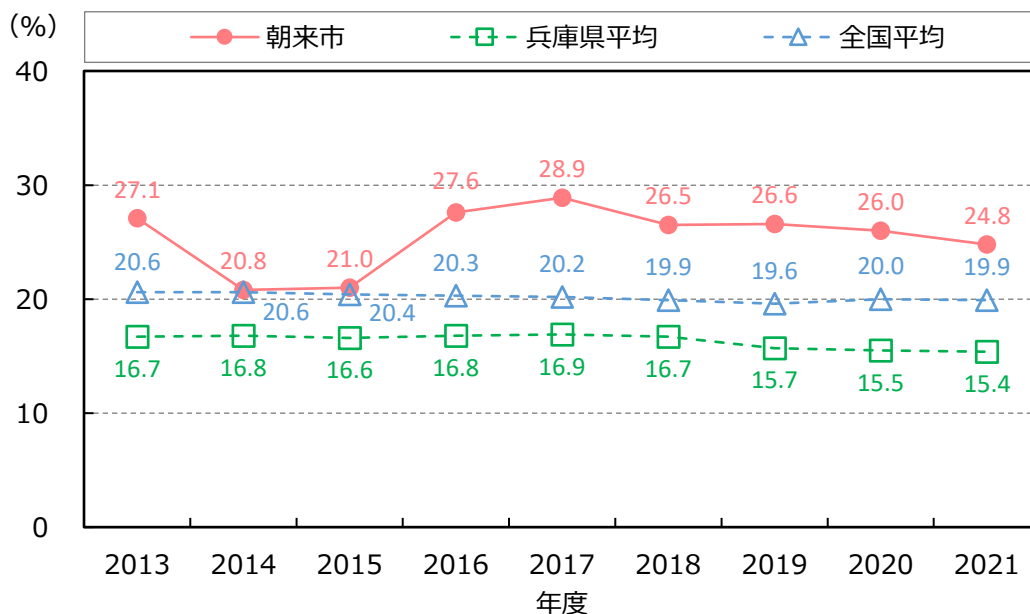


資料：一般廃棄物処理実態調査

1人1日当たりのごみ排出量の推移

(6) リサイクル率

本市のリサイクル率は、2021年度で24.8%となっており、多少の増減はあるものの減少傾向で推移しています。兵庫県平均及び全国平均よりも低い水準で推移しています。

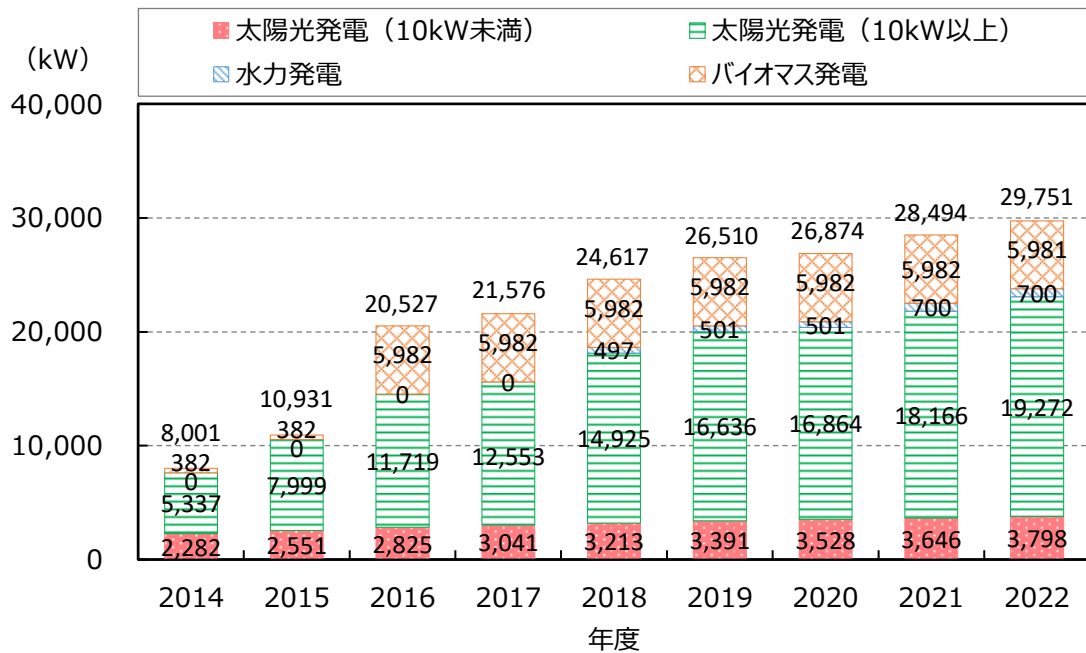


資料：一般廃棄物処理実態調査

リサイクル率の推移

(7) 再生可能エネルギー

市内の固定価格買取制度（FIT）による再生可能エネルギーの累計導入容量は、2022年度で29,751kWとなっています。エネルギー種別に見ると、太陽光発電（10kW以上）が19,272kWで最も多く、次いでバイオマス発電の5,981kW、太陽光発電（10kW未満）の3,798kW、水力発電の700kWとなっています。



資料：固定価格買取制度 情報公表用ウェブサイト
固定価格買取制度（FIT）による再生可能エネルギーの累積導入容量の推移